

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 藤井 良啓 (交通施設係長 中尾 兼人)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約4.3 億円 (内用地補償費約 1.4億円)
		交通安全施設等整備事業 (国) 1 7 5 号	丹波市市島町北岡本		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
丹波市市島町北岡本				平成21年度	平成26年度
事業目的			事業内容		
小、中学校の通学路であるが、国道に歩道が整備されていないため、自動車と輻輳による危険性の高い道路となっている。そこで、自転車歩行者道の整備を行い、地域の安全な暮らしを守る。			歩道整備 (片側) L = 1, 1 5 0 m W = 3. 0 m (3. 5) m 現況 歩道なし (負担割合 国 1 / 2 県 1 / 2)		
評価視点					
(1) 必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該区間は、JR福知山線市島駅の北側に位置し、国道 1 7 5 号の歩道未整備区間である。 ・ 当該区間の一部は、吉見小学校(6人)、市島中学校(32人)の通学路に指定されているものの、歩道がなく危険な状況となっている。この他、通学路が大きく迂回しており、利用されている市道は幅員も狭く、通学時には歩行者と自動車が錯綜している ・ 歩道の連続性の確保 (前後の整備状況…起点側：W=3.0m(3.5m)、終点側：既設歩道W=3.0m(3.5m)) ・ 自動車交通量、歩行者、自転車交通量が多い。 (自動車11,169台/日、歩行者156人/12hr、自転車97台/12hr) ・ 過去5年間に自転車、歩行者の交通事故(2件)が発生している。 ・ 死傷事故率(79.7人/億台km) 			
[周辺状況]					
[交通状況]					
[交通事故]					
(2) 有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自歩道整備により、自転車歩行者の安全が確保できる。 ・ JR市島駅(乗降客数：2千人/日)への歩行者等の動線が確保できる。 ・ 住民参加による交通安全総点検を実施し(H10.10.07)歩道の必要性について地域の理解を得ている。 ・ 事業計画等については、説明会を開催し合意形成を図っており、円滑な事業執行環境が整っている。 			
[効果]					
[事業執行環境]					
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要幹線道路にもかかわらず、歩道が無く自転車と自動車が錯綜するなど、非常に危険な状況にあり、早期の対策が必要である。 ・ 地元(自治振興会)から当該区間について、通学生の安全確保のため歩道整備を要望されている 			



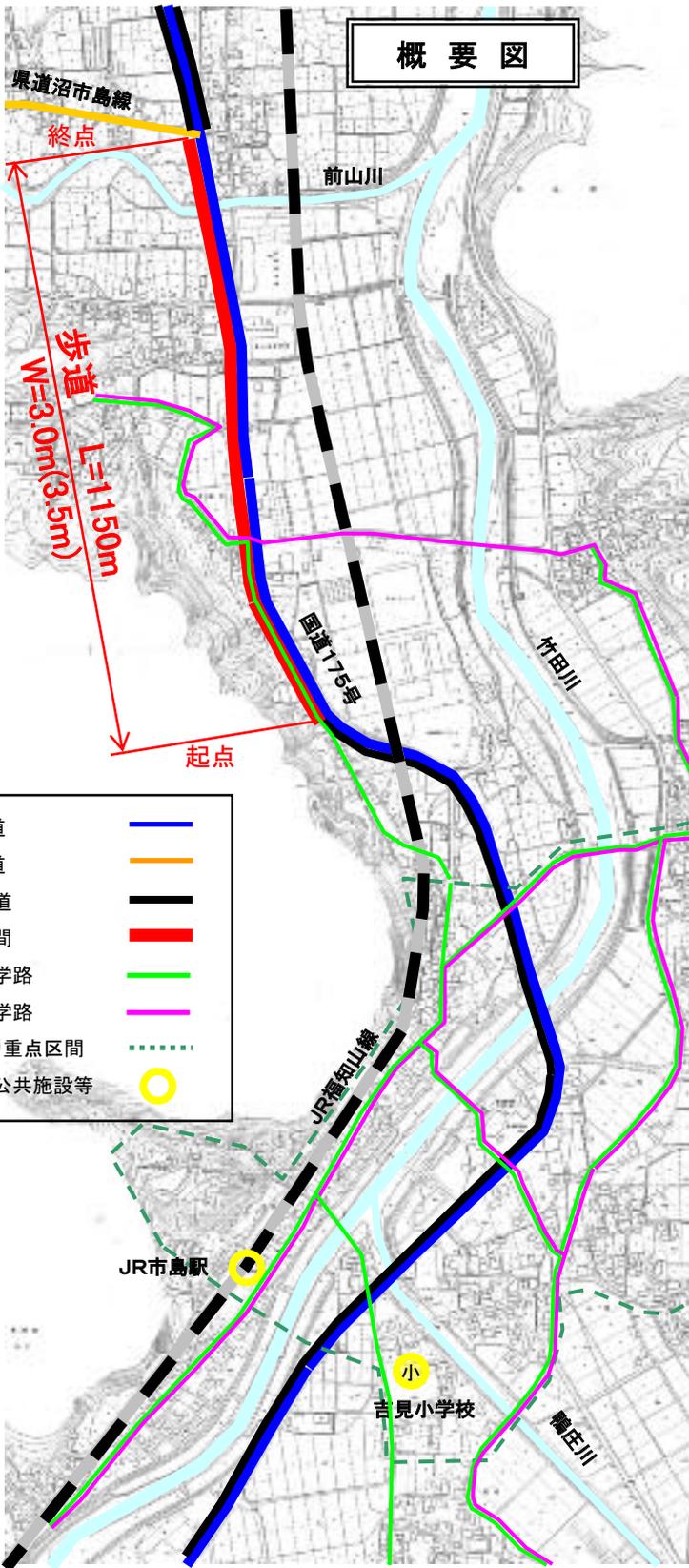
概要図

自歩道

(国)175号

丹波市市島町北岡本

(国庫補助事業)



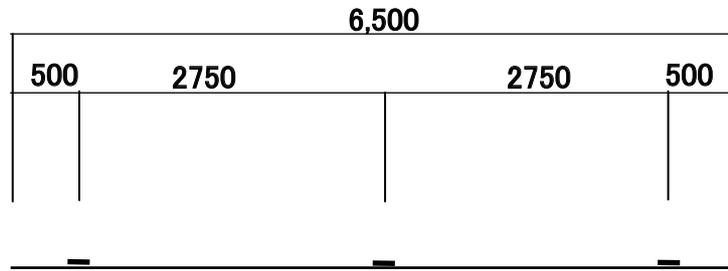
凡例

国道	— (Blue line)
県道	— (Orange line)
既設歩道	— (Black dashed line)
事業区間	— (Red line)
小学校通学路	— (Green line)
中学校通学路	— (Magenta line)
福祉のまちづくり重点区間	— (Dotted green line)
小中学校・高校・公共施設等	○ (Yellow circle)

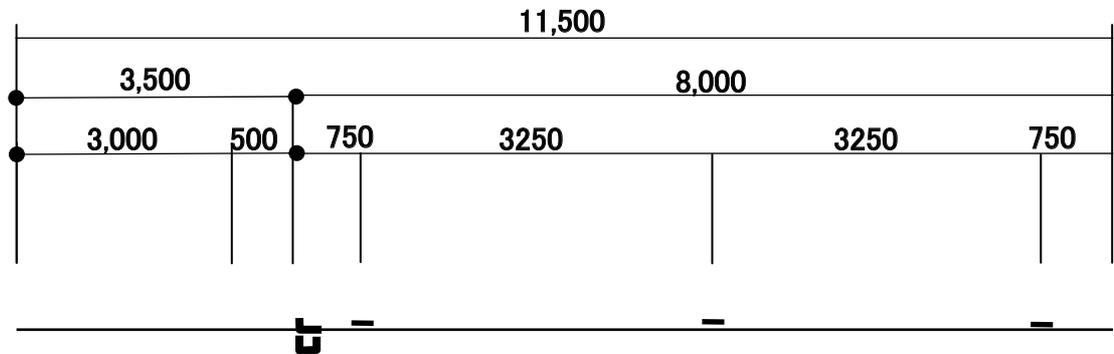


標準断面図

整備前



整備後



事業スケジュール

種別	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
設計・調査						
用地						
工事						

状況写真



通学状況写真(市道の状況)



通学状況写真



中学生と自動車の錯綜



状況写真

自転車などの通行空間が十分でない



自転車と自動車の錯綜



現況写真(起終点部写真)

